<u>新規コンポーネント作成手順</u>

= 音を鳴らすコンポーネントを例にして=

MZ Platform.3.4

		\sqrt{h}	_
=	н	-ľΚ	_
	-	~	

手順1	サンプルプログラム格納場所への移動	3
手順2	サンプルプログラム名の変更	7
2 - 1	ファイル名の変更	7
2 - 2	2 プログラムコードの編集	11
2 - 3	3 「SAMPLE_EN.PROPERTIES」ファイルの修正	17
2 - 4	I 「SAMPLES_JA.PROPERTIES」ファイルの修正	21
手順3	「BUILD.BAT」ファイルの編集	25
3 - 1	ファイルのコピー	25
3 - 2	2 バッチファイルのプログラム編集	29
手順4	バッチファイルの実行	36
手順 5	「SAMPLE.JAR」ファイルの確認	39
手順6	コンポーネント登録手続き(その1)	42
手順7	コンポーネント登録手続き(その2)	44
手順8	コンポーネント一覧に登録されているかの確認	47

手順1 サンプルプログラム格納場所への移動

「スタート」→「マイコンピュータ」とたどり、左クリックします。



「マイコンピュータ」画面が表示されます。「ローカルディスク(C:)」アイコンをダブルクリックしま



「ローカルディスク(C:)」フォルダが表示されます。「MZPlatform」フォルダのアイコンをダブルク リックします。



「MZPlatform」フォルダが表示されます。「3.4」フォルダのアイコンをダブルクリックします。



「3.4」フォルダが表示されます。「developer」フォルダのアイコンをダブルクリックします。







「sample」画面が表示されます。「src」フォルダのアイコンをダブルクリックします。



「src」画面が表示されます。「samples」フォルダのアイコンをダブルクリックします。



「samples」画面が表示されます。

🚞 samples		
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お気に)	(り(A) ツール(T) ヘルプ(H)	1
🔇 戻る 🔹 🕥 - 🏂 🔎 検索	🔊 אוויד 📰 ד	
アドレス(D) 🛅 C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥develop	oer¥sample¥src¥samples	🖌 🄁 移動
ファイルとフォルダのタスク	SampleButtonComponent.java JAVA ファイル 10 KB	
る このフォルダを Web (こ公開 する ☆ このフォルダを共有する	Sample Enproperties JAVA ファイル 11 KB	
その他 🙁	1 KB	
 src マイドキュメント 共有ドキュメント マイコンピュータ マイネットワーク 		
詳細 念 、	2	

2-1 ファイル名の変更

拡張子が「.java」のファイルを1つ選び、アイコン上で右クリックします(例題では、 「SampleAdditionComponent.java」を選択)。「コピー(C)」を左クリックします。



下図の囲み内で右クリックします。



「貼り付け(P)」を左クリックします。

🚞 samples		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り)(A) ツール(T) ヘルプ(H)	
🔇 戻る 🔹 🕥 🕤 🏂 🔎 検索 🚺	🕞 كەللەر 🎫	
アドレス(D) 🚞 C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥developed	r¥sample¥src¥samples	💙 🄁 移動
 ファイルとフォルダのタスク	SampleAdditionComponent.java JAVA ファイル 10 KB	
る このフォルダを Web に公開 する ごのフォルダを共有する	Sample Sample Set Samples enproperties JAVA ファイル 11 KB	
その他 🙁	samples japroperties PROPERTIES 771/J 1 KB	
 ⇒ src ⇒ マイドキュメント ⇒ 共有ドキュメント ♀ マイ コンピュータ ♀ マイ ネットワーク 	表示 (い) アイコンの 整列 (0) 最新の 情報 (こ更新 (E) この フォルダのカスタマイズ (E)… ■ En たたまままままままままままままままままままままままままままままままままま	
詳細	NBUNITUU ショートカットのBUNITUS 元に戻す - 削除(山) CtrHZ 新規作成(山) ↓ プロパティ(R)	
14:32		

「コピー~SampleAdditionComponent.java」ファイルの追加が確認できます。

🚞 samples		
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お気	に入り(各) ツール(① ヘルプ(日)	1
Ġ 戻る 🔹 🕥 🚽 🏂 🔎 検	索 🍺 フォルダ 🛄・	
アドレス(D) 🚞 C.¥MZPlatform \3.4 ¥deve	loper¥sample¥src¥samples	🖌 🄁 移動
ファイルとフォルダのタスク 💲	SampleAdditionComponent.java JAVA ファイル 10 KB	
 このファイルを移動する このファイルを引きる このファイルを引きます。 このファイルを引きます。 	SampleNativeAdditionComponent JAVA ファイル 11 KB	
 ○のファイルをWeb に公開す る このファイルを電子メールで 送信する このファイルを電子メールで どにする このファイルを削除する 	Samples japroperties PROPERTIES 771/JL 1 KB	>
て の他 🛞		
 src マイドキュメント 共有ドキュメント マイコンピュータ マイコンピュータ 		
詳細 《	v	

このファイルの名前を変更します。「コピー~SampleAdditionComponent.java」アイコン上で右ク リックします。「名前の変更(<u>M</u>)」を左クリックします。



編集できる状態になりました。

🚞 samples		
ファイル(E) 編集(E) 表示(⊻) お気	に入り(各) ツール(① ヘルプ(出)	1
🔇 戻る 🔹 🕥 🕤 🏂 🔎 検討	秦 🎼 フォルシ 🏢・	
アドレス(D) 🗀 C¥MZPlatform¥ 3.4 ¥deve	loper¥sample¥src¥samples	🗙 🄁 移動
ファイルとフォルダのタスク 📀	SampleAdditionComponentjava JAVA ファイル 10 KB	
¯¯ る 浸 このファイルを移動する □ このファイルをコピーする	SampleNativeAdditionComponent JAVA วราม 11 KB	
 ○ このファイルを Web に公開す ○ このファイルを電子メールで 送信する このファイルを削除する 	Samples japroperties PROPERTIES 77-11/L 1 KB	ent.java
€012 ×		
 src マイドキュメント 共有ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク 		
# #	×	

例題では、音を鳴らすコンポーネントを作成するので「Sound.java」とします。ファイル名を入力後、 [Enter]キーを押して確定させます。



補足

説明では、サンプルファイルを直接編集せずにコピーファイルを別に用意しました。 これは元のファイルを残して置くためです(今後参考にする時の事を考えて)。

2-2 プログラムコードの編集

「Sound.java」ファイルのアイコンをダブルクリックします。

🗀 samples		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気にフ	入り(色) ツール(①) ヘルプ(日)	1
🔇 戻る 🔹 🕥 🕤 🏂 🔎 検索	😰 Элий 📰 -	
アドレス(D) 🗁 C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥develop	per¥sample¥src¥samples	💙 ラ 移動
ファイルとフォルダのタスク 🙁	SampleButtonComponent.java JAVA ファイル JAVA ファイル 10 KB	
 新しいフォルダを作成する このフォルダを Web に公開 する このフォルダを共有する 	SampleNativeAdditionComponent JAVA ファイル 11 KB	
その他 🚷	samples japroperties PROPERTIES אולא איליגע אי איליגע איליגע איליגע איליגע אילאע אילע איל	
 src マイドキュメント 共有ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク 		
詳細		
samples ファイル フォルダ 更新日時: 2006年12月27日、 14:32		
 マイネットワーク 詳細 samples ファイル フォルダ 更新日時: 2006年12月27日、 14:32 	▼	

以下の画面が表示されます。



画面を少し下へ移動すると、「import jp.go.aist.dmrc.platform.util.event.*;」の記述があります。この記述の次行に以下の記述を追加します。

import∆java.awt.*;

- (注1)入力は半角で行います。
- (注2) △部分は半角スペースを入力します。

ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(Q) ヘルフ(E)
* implements句:処理完了イベントのみ使用
* インスタンス変数定義:処理完了イベントのみ使用
* スリット実装 :処理元「イヘノトのみ使用 * の生地
◆ (型夫衣) ★ 知力与フカ(弾液) ・たし
* 税ノンへの融通 - なし
* シリアライズ機能 : デフォルト処理(実際にはメソッド定義不要)
* デシリアライズ機能 :デフォルト処理(メソッド定義は不要)
*/
/** Package Declaration **/ package samples; /** Import Declarations **/ import java.io.*; // ObjectIntputStream, ObjectOutputStream import java.util.*; // Iterator import jp.go.aist.dmrc.platform.base.*; // PFComponent import jp.go.aist.dmrc.platform.base.xml.*; // PFXMLSerializable import jp.go.aist.dmrc.platform.util.*; // PFUtility import jp.go.aist.dmrc.platform.util.event.*; // PFProcessTerminateEvent,PFProcessTerminateEventSc Import java.awt.*;
/** * サンブルコンボーネント:加算。 * 外部からの処理要求により、2つの値を加算するコンボーネント。 * このコンボーネントから発生するイベントは以下。

「SampleAdditionComponent」の記述を「Sound」に変更します。変更箇所が複数あるので、[置換] 機能を利用します。メニューバーの「編集(<u>E</u>)」を左クリックします。

ファイル(E 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
* implements句	^
* インスタンス変数定義:処理完了イベントのみ使用	
* スノット美装 :処理完」イベノトのみ使用 * の1字述	
* 30/ラスの継承 :なし	
* 引数なしコンストラクタ:処理なし	
* シリアライズ機能 :デフォルト処理(実際にはメソッド定義不要)	
* テジリアライス機能 :テフォルト処理(メソット定義は不要) */	
<i>↑</i> /	
/** Package Declaration **/	
package samples;	
/** Import Declarations **/ import java.io.*; // ObjectIntputStream, ObjectOutputStream import java.util.*; // Iterator import jp.go.aist.dmrc.platform.base.*; // PFComponent import jp.go.aist.dmrc.platform.base.xml.*; // PFXMLSerializable import jp.go.aist.dmrc.platform.util.*; // PFUtility import jp.go.aist.dmrc.platform.util.event.*; // PFProcessTerminateEvent,PFProcessTerminateEvent import java.awt.*;	Sc
/** *サンプルコンボーネント:加算。 *外部からの処理要求により、2つの値を加算するコンボーネント。 * このコンボーネントから発生するイベントは以下。	>
	>

一覧から「置換(R)...」を左クリックします。



「置換」画面が表示されます。「検索する文字列(N):」右隣のボックスに以下の記述を行います。

SampleAdditionComponent (注)入力は半角で行います。

置換		? 🛛
検索する文字列(<u>N</u>):	SampleAdditionComponent	次を検索(E)
置換後の文字列(P):		置換して)欠に(R)
		すべて置換(<u>A</u>)
□大文字と小文字を	<u>(で)</u>	++>+UU

「置換後の文字列(P):」の右隣のボックスに以下の記述を行います。

Sound

(注)入力は半角で行います。

置換		? 🛛
検索する文字列(<u>N</u>):	SampleAdditionComponent	次を検索(E)
置換後の文字列(<u>P</u>):	Sound	置換して次に(R)
		すべて置換(<u>A</u>)
□大文字と小文字を図	(別する(C)	キャンセル

「すべて置換(<u>A</u>)」を左クリックします。

置換	?🛛
検索する文字列(<u>N</u>): Samp	le AdditionComponent 次を検索(E)
置換後の文字列(P): Soun	置換して)太に(<u>R</u>)
	すべて置換(A)
□大文字と小文字を区別する(>) キャンセル
	-

「×」ボタンを左クリックし、「置換」画面を閉じます。

置換		? 🛛	×
検索する文字列(N):	SampleAdditionComponent	次を検索(<u>F</u>)	
置換後の文字列(P):	Sound	置換して次に(R)	圧クリック
		すべて置換(<u>A</u>)	
□大文字と小文字を区り	引する(0)	キャンセル	
	5170 <u>e</u>		

画面下へ約2/3移動したところに、以下の記述があります。

public void localeUpdated{	
//何もしない	
}	

📙 Sound.java - メモ縣	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)	
	<u>~</u>
/** * ロケール亦再に対応する	
*/ U / // & X(=>1/0.5 *0.6	
public void localeUpdated() {	
// 何もしない }	
14 41	
/********************************	
/* */	
/**	
* 引数で与えられた2つの整数の加算を行う。	
* @param valuel //1.昇対家整致(1) * @param value2 加質対象整数(2)	
* @return 加算結果	
*/ multim int add(int unlunt int unlunt) throws DEE.comtion [
public int add(int value), int value2) throws Prexception { // 加算の実行	
int result = value1 + value2;	
// 伽珊中マイベントの発生	
// ^{wu} uu 1 インドの光土 try{	×
	>
	1行、1列



🖟 Sound.java - 大毛帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
/** * ロケール変更に対応する。	<u>^</u>
*/ public void localeUpdated() {	
public void Beep(){ Toolkit.getDefaultToolkit().beep(); }	
/**/ */ /* 各コンボーネント機能実装 */ /**/	
/** *引数で与えられた2つの整数の加算を行う。 *	
* @param value1 加算対象整数(1) * @param value2 加算対象整数(2) * @return 加算結果 */	
"" public int add(int value1, int value2) throws PFException { // 加算の実行	~
K	>

ここで行った設定を保存します。メニューバーの「ファイル(F)」を左クリックします。

🖡 Sound.java - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
/** * ロケール変更に対応する。 */ public void localeUpdated() { // 何もしない }	~
<pre>public void Beep(){ Toolkit.getDefaultToolkit().beep(); }</pre>	
/* */ /* 各コンボーネント機能実装 */ /* */	
/** * 引数で与えられた2つの整数の加算を行う。 * * @param value1 加算対象整数(1) * @param value2 加算対象整数(2) * @return 加算結果 */ public int add(int value1, int value2) throws PFException {	

一覧から[上書き保存(S)]を左クリックします。

■ Sound.java - メモ無	
_ ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)	
新規(N) Ctrl+N	<u>^</u>
「開 <u>(Q)</u> … Ctrl+O 上ま考保存(S) Ctrl+S · · · -	
ページ設定(U)	
印刷(P) Ctrl+P	
メモ帳の終了公	
public void Beep(){ Toolkit.getDefaultToolkit().beep(); }	
/********************************	
/** * 引数で与えられた2つの整数の加算を行う。 * * @param value1 加算対象整数(1) * @param value2 加算対象整数(2) * @return 加算結果 */ public int add(int value1, int value2) throws PFException { // 加算の実行	
Int result - valuel + valuez;	×
	► .::

「×」ボタンを左クリックし、「Sound.java」ファイルを閉じます。



2-3 「sample_en.properties」ファイルの修正

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」とたどり、メモ帳を起動しま す。メニューバーの「ファイル(<u>F</u>)」を左クリックし、一覧から[開く(<u>O</u>)]を選びます。

🍺 無題 - メモ帳			
ファイル(E) 編集(E) 書	拭◎ 表示♡	ヘルプ(出)	
新規(N)	Ctrl+N		~
	Otri+O		
名前を付けて保存(A)…			
ページ設定(山)			
印刷(P)	Ctrl+P		
メモ帳の終了⊗			
			~

C:\MZPlatform\3.4\developer\sample\src\samples フォルダを開きます。

そのままではファイルが表示されないので、[ファイルの種類 (T)]を「すべてのファイル」に変更します。

猒						? 🗙
ファイルの場所型:	🚞 samples		~	6	i 📂 🛄	
していていていていていていていていていています。 最近使ったファイル						
び デスクトップ						
ک جز انج						
יבשעב א ק						
						
マイ ネットワーク	ファイル名(N):	*.txt			*	III (D)
	ファイルの種類(工):	テキスト文書 (*.txt)			*	キャンセル
	文字コード(<u>E</u>):	テキスト又書(*.txt) すべてのファイル				.:

「sample_en.properties」が表示されるので、ファイル名を指定して開きます。

<u>≣K</u>	?	×
ファイルの場所型:	🔁 samples 💽 🤡 🖾	
最近使ったファイル で デスクトップ	Sample AdditionComponent.java Sample ButtonComponent.java Sample Native AdditionComponent.java Samples_en.properties Samples_japroperties Sound.java	
ک ارتباع کی مرکد اینجا		
ער בארב אד ער בארב אד		
マイ ネットワーク	ファイル名(W): 「間((0)) ファイルの種類(①): すべてのファイル	Ę?
	文字コード(E): ANSI V	

以下の画面が表示されます。



一番最後の行に以下のコードを追加します。

Sound.ComponentName=Sound

(注)入力は半角で行います。



ここで行った設定を保存します。メニューバーの「ファイル(F)」を左クリックします。



一覧から「上書き保存(<u>S</u>)」を左クリックします。

]] samples_en.properties - →モ帳	
新規(N) Ctrl+N Nd 間(<u>O)</u> Ctrl+O 上書き保存(<u>S</u>) Ctrl+S 名前を付け(1保存(<u>A</u>)	
ページ設定(U) ED刷(E) Ctrl+P	
メモ帳の終了♡♡	
	~
	>
	1 行、26 列

「×」ボタンを左クリックし、「samples_en.properties」ファイルを閉じます。

🐻 samples_en.properties - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	1
SampleButtonComponent.ComponentName=SampleButton SampleButtonComponent.Menu.SetLabel=Set Label SampleButtonComponent.SetLabelDialog.Title=Input SampleButtonComponent.SetLabelDialog.Message=Input label string.	
SampleAdditionComponent.ComponentName=Sample Addition SampleNativeAdditionComponent.ComponentName=Sample Native Addition	左クリック
Sound.ComponentName=Sound	

2-4 「samples_ja.properties」ファイルの修正

「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「メモ帳」とたどり、メモ帳を起動しま す。メニューバーの「ファイル($\underline{\mathbf{F}}$)」を左クリックし、一覧から[開く($\underline{\mathbf{O}}$)]を選びます。

📕 無題 - メモ帳			
ファイル(E) 編集(E) 装	▲二人 (四) 大雪	ヘルプ住)	
新規(<u>N</u>)	Ctrl+N		~
開(Q) 上まき保存(S)	Otrl+O		
名前を付けて保存(A)			
ページ設定(U)			
印刷(P)	Ctrl+P		
メモ帳の終了⊗			
			~

C:\MZPlatform\3.4\developer\sample\src\samples フォルダを開きます。

そのままではファイルが表示されないので、[ファイルの種類 (T)]を「すべてのファイル」に変更します。

猒						? 🗙
ファイルの場所型:	🚞 samples		~	6	i 📂 🛄	
していていていていていていていていていています。 最近使ったファイル						
び デスクトップ						
ک جز انج						
יבשעב א ק						
						
マイ ネットワーク	ファイル名(N):	*.txt			*	IIK(O)
	ファイルの種類(工):	テキスト文書 (*.txt)			*	キャンセル
	文字コード(<u>E</u>):	テキスト又書(*.txt) すべてのファイル				.:

「sample_ja.properties」が表示されるので、ファイル名を指定して開きます。

厭	?	×
ファイルの場所型:	🖻 samples 🕑 🕼 📂 🖽	
しています。 最近使ったファイル び デスクトップ	Sample AdditionComponent.java Sample ButtonComponent.java Sample Native AdditionComponent.java samples_en.properties samples_japroperties Sound java	
אלאנדא אר זיעאנד		
ער בארב אד ארבארב אד		
२२ २७-७	ファイル名(W): ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	2
	文字コード(E): ANSI	

以下の画面が表示されます。

D samples_ja.properties - ≯モ帳		
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)		
SampleButtonComponent.ComponentName=サンブルボタン SampleButtonComponent.Menu.SetLabel=ラベル設定 SampleButtonComponent.SetLabelDialog.Title=入力 SampleButtonComponent.SetLabelDialog.Message=ラベル文字列を入力して下さい。 SampleAdditionComponent.ComponentName=サンブル加算 SampleNativeAdditionComponent.ComponentName=サンブルネイティブ加算		
<		
	1行、1列	.::

一番最後の行に以下のコードを追<u>加します。</u>_____

Sound.ComponentName=Sound (注) 入力は半角で行います。

▶ samples_ja - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
SampleButtonComponent.ComponentName=サンブルボタン SampleButtonComponent.Menu.SetLabel=ラベル設定 SampleButtonComponent.SetLabelDialog.Title=入力 SampleButtonComponent.SetLabelDialog.Message=ラベル文字列を入力して下さい。	~
SampleAddition.component.componentName-サフフル加昇 SampleNativeAdditionComponent.ComponentName=サンブルネイティブ加算	
Sound.ComponentName=Sound	
	→ .::

ここで行った設定を保存します。メニューバーの「ファイル(<u>F</u>)」を左クリックします。



一覧から「上書き保存(S)」を左クリックします。

🖡 samples_ja.properties - 大毛帳	
_ ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
新規(N) Ctrl+N hd 間(<u>O)</u> Ctrl+O 上書き保存(<u>S</u>) Ctrl+S 名前を行け(1保存(<u>A</u>)	
ページ設定(<u>1)</u> 印刷(P) Ctrl+P	
メモ帳の終了 20	
	~
2	
	1 行、26 列

「×」ボタンを左クリックし、「samples_ja.properties」ファイルを閉じます。



手順3 「build.bat」ファイルの編集

3-1 ファイルのコピー

「スタート」→「マイコンピュータ」→「ローカルディスク(C:)」→「MZPlatform」→「3.4」→「developer」 →「sample」とたどると、「build.bat」ファイルがあります。「build.bat」ファイルのアイコン上で右 クリックし、「コピー(<u>C</u>)」を左クリックします。



下図の囲み内で右クリックします。



「貼り付け(P)」を左クリックします。



「コピー~build.bat」ファイルが追加されました。

🗀 sample		
ファイル(Ё) 編集(Ё) 表示(⊻)	お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)	an 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 1997 - 19
🔇 RG • 🕥 - 🏂 🎾) 検索 🎼 フォルダ 🛄・	
アドレス(D) 🚞 C:¥MZPlatform¥ 3.4	¥developer¥sample	🖌 🏹 移動
ファイルとフォルダのタスク ごう 新しいフォルダを作成する	AP_DATA jars	
 このフォルダを Web に公開 する このフォルダを共有する 	lib Src	
その他	 src_native src_native 	
 developer マイドキュメント 共有ドキュメント 	buildsml XML Document 3 KB	
তু হব এস্টেন-র উ হব রঙ্গদের-৫	IC buildbat MS-DOS バッチ ファイル 4 KB	
詳細	*	
sample ファイル フォルダ 更新日時: 2007年2月15日、 14:16	~	

このファイルの名前を変更します。「コピー~build.bat」ファイルのアイコン上で右クリックします。 「名前の変更(M)」を左クリックします。



編集できる状態になりました。



例題では「build1.bat」と変更します。ファイル名を入力後、[Enter]キーを押して確定させます。



補足

説明では、サンプルファイルを直接編集せずにコピーファイルを別に用意しました。 これは元のファイルを残しておくためです(今後参考にする時の事を考えて)。

3-2 バッチファイルのプログラム編集

「build1.bat」ファイルのアイコンを、「メモ帳」アイコン上にドラッグ&ドロップします。「メモ帳」 アイコンがデスクトップ上にない場合には、「スタート」→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」 →「メモ帳」とたどり、表示されたメモ帳のウィンドウ上にドラッグ&ドロップします。

	🖻 sample	×
	ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) ヘルブ(U)	1
	🔇 戻る 🔹 🌍 🔺 🏂 🏷 フォルダ 💷 🔹	
	アドレス① 🗁 C:WMZPlatform¥3.4¥developer¥sample¥sro 🔍 🍡 務	勆
	ファイルとフォルダのタスク	
	للسلمة المركبة	
メ モ帳	 その他 developer マイドキュメント	
	¥	
🦺 X&-ト 🔰 🚺	🗁 sample	

以下の画面が表示されます。



「ECHO 環境設定...」の次行に、「set JAVA_HOME=c:¥java¥jdk142」の記述があります。青色文 字の部分を、Java 開発環境(JDK)のインストール先フォルダに変更します(例えば、set JAVA_HOME=c:¥j2sdk1.4.2_10と記述)。JDK は、別途入手し、インストールする必要があります¹。

👼 build1.bat - メモ帳		×
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)		-
@ECHO OFF		^
KEM S必要なソフトウェア>		
REM ・J25E1.4.2_U3U)降(http://java.sun.com/)が必要です。 DEM ・MiscNi(http://www.minew.minew.minew.act/)が近世です。		
REM ・Winnam (http://www.ninngw.org/)力心安とす。 REM		
Nem <環境設定>		
REM ・環境変数JAVA_HOMEにJ2SEのインストール先フォルダを指定してください。		
REM ・環境変数MINGW_HOMEにMinGWのインストール先フォルダを指定してください。		
REM		
NEM 〈使い方> DEM しっこう 〈# たんだしたし ねん		
NEM ・JAFノアイルを作成したい場合 DEM(2)(わたっシットマウトレーア宇行しアノださい)		
NEM マーマのパリアとコスシアトアンドして美ししてくたらい。 REM・ネイティブのヘッダファイルを作成したい場合		
$\begin{array}{rcl} REM & \to & (2)(4) & Farstrophic(2) & Farstrophic($		
REM ・ネイティブのソースコードをコンバイルしてライブラリを生成したい場合		
REM → (1)(2)(3)をコメントアウトして実行してください。		
REM ====================================		
DEN		
REM PFM 평년호입수		
11上m 2元+見22上 RFM ====================================		
ECHO 環境設定		
set JAVA_HOME=c:¥j2sdk1.4.2_10		
set MINGW_HOME=c:¥mingw		~
<	>	

次行に「set MINGW_HOME=c:¥mingw」の記述がありますが、この命令文は実行しないのでコメント(注釈)文にします。以下の青色部分を追加します。

REM△set MINGW_HOME=c:¥mingw (注1)入力は半角で行います。 (注2)△部分は半角スペースを入力します。



¹ 例えば、http://www.oracle.com/technetwork/java/javase/downloads/index.html からダウンロード。

画面下へ半分ほど移動したところに以下の記述があります。

%JAVA_HOME%¥bin¥javac -source 1.4 -classpath ..¥..¥jars¥mzplatform.jar -d class src¥samples¥*.java



「..」と「*」の部分を以下の青色文字に変更します。

%JAVA_HOME%¥bin¥javac –source 1.4 –classpath C:¥MZPlatform¥3.4¥jars¥mzplatform.jar -d class src¥samples¥Sound.java (注)入力は半角で行います。

🖡 build1.bat - J王帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(L)	
REM	~
REM (1) Javaコンバイル	
NEM ====================================	
%JAVA_HOME%¥bin¥javac -source 1.4 -classpath C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥jars¥mzplatform.jar -d class src¥samples¥Sound.java	
КЕМ (2) Jarファイル/Fbb. РЕМ	
12月	
%JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_ja.properties class¥samples¥samples_ja.properties %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples_en.properties %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples.properties	
LCHU Jar王成 9 IAVA HOMESYALINYiar of iarsY-sample iar -C class samples	_
Novre_Indme.ketofitigal of jarstsample.jar o class samples	
REM	
REM (3) ネイティブのヘッダファイル作成	
NEM	=
%JAVA_HOME%¥bin¥javah -d src_native -jni -classpath class samples.SampleNativeAdditionComponent	
RFM	
REM (4) C/C++ のコンパイル	
REM ====================================	
ECH0 C/C++コンパイル	~
	>

画面を少し下へ移動すると「ECHO ネイティブのヘッダファイル生成…」の記述がありますが、この 命令文は実行しないのでコメント(注釈)文にします。以下の青色部分を追加します。

REM△ECHO ネイティブのヘッダファイル生成...

(注) △部分は半角スペースを入力します。



次行に「%JAVA_HOME%¥bin¥javah...(以下省略)」の記述がありますが、この命令文は実行しないのでコメント(注釈)文にします。以下の青色部分を追加します。

REM△%JAVA_HOME%¥bin¥...(以下省略) (注) △部分は半角スペースを入力します。

🕞 build1.bat - J毛幅	
7テイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)	
REM ====================================	
REM (1) Javaコンパイル	L
	L
EURU Java I J/ / I J/ VIIVU UMUEVVLiviene	L
AJAVA_numeAfbinfjavac "source 1.4 "classpath 0.4mm/rlattorm#3.4fjarsfmzplattorm.jar "q class srcfsamplesfound.java	L
REM	L
REM(2)Jarファイル作成	L
REM ====================================	L
ECH0 リソース	L
XJAVA_HOMEXXbin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_ja.properties class¥samples¥samples_ja.properties	L
XJAA_HUMEXtbintpative/ascii -encoding SJIS srctsamplestamplestenplestenplestamplestamplestenplest	L
AUAYA_DUWEADINFNATIVEZASCHI "Encoding 5013 Srcfsamplesfsamples_en.properties classfsamplesfsamples.properties ENLN Lawfet	L
Colo Gar⊥ga X.IAVA HOME¥¥bin¥iar of jars¥sample.jar -C class samples	
REM ====================================	
REM(3)ネイティブのヘッダファイル作成	
HEM UNI スイティブロヘッタファイル生化	
REM %JAYA_HUME%#DIn#Javan -d src_native -jni -classpath class samples.samplenativeAdditionLomponent	
RFM	
REM (4) C/C++ のコンパイル	
REM ====================================	1
ECH0 C/C++コンパイル	

最下行から2行目に「ECHO C/C++コンパイル...」の記述がありますが、この命令文は実行しないの でコメント(注釈)文にします。以下の青色部分を追加します。 **REM**△ECHO C/C++コンパイル... (注) △部分は半角スペースを入力します。



最下行に「%MINGW_HOME%¥bin¥gcc...(以下省略)」の記述がありますが、この命令文は実行しないのでコメント(注釈)文にします。以下の青色部分を追加します。

REM△%MINGW_HOME%¥bin¥gcc...(以下省略)

(注) △部分は半角スペースを入力します。

🖡 build1.bat - 31 👯 📃 🗌 🔀
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)
ECHO Javaコンバイル %JAVA_HOME%¥bin¥javac -source 1.4 -classpath C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥jars¥mzplatform.jar -d class src¥samples¥Sound.java
REM REM (2) Jarファイル作成
ECHU リソース %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_ja.properties class¥samples¥samples_ja.properties %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples_en.properties %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples.properties FDHD lar⊄#dt
×JAVA_HOME%¥bin¥jar cf jars¥sample.jar −C class samples
NEM (3) ネイティブのパッダブアイル1FBX, DEM
NEW FCHO ネイティブのヘッダファイル生成
REM %JAVA_HOME%¥bin¥javah -d src_native jni -classpath class samples.SampleNativeAdditionComponent
KEM (4) しひ++ のコンバイル PCH
REM %MINGW_HOME%¥bin¥gcc -shared -D_JNI_IMPLEMENTATIONWall -O2 -s -fomit-frame-pointer -fno-strength-reduce -WI
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

最下行の記述の次行に改行を挿入します。改行を挿入した次行に「pause」の記述を行います。

🕞 build1.bat - JE 🐔 📃 🔲 🔀
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)
ECHO Javaコンバイル %JAVA_HOME%¥bin¥javac -source 1.4 -classpath C:¥MZPlatform¥3.4¥jars¥mzplatform.jar -d class src¥samples¥Sound.java
REM ====================================
REM
ECHO リソース %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_ja.properties class¥samples¥samples_ja.properties %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples_en.properties %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples.properties ECHO ler⊄st
×JAVA_HOME%¥bin¥jarcfjars¥sample.jar-Cclass samples
ועשי (אין ארין א געראר) אין
NEM ECHO ネイティブのヘッダファイル牛成
REM %JAVA_HOME%¥bin¥javah -d src_native -jni -classpath class samples.SampleNativeAdditionComponent
REM ====================================
REM (4) C/C++ のコンバイル
REM
REM ECHO C/C++コンバイル REM %MINGW_HOME%¥bin¥gcc -shared -D_JNI_IMPLEMENTATIONWall -O2 -s -fomit-frame-pointer -fno-strength-reduce -WI,-
pause

ここで行った設定を保存します。メニューバーの「ファイル(F)」を左クリックします。

🕞 build1.bat - Jモ幅
ECHO Javaコンバイル %JAVA_HOME%¥bin¥javac -source 1.4 -classpath C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥jars¥mzplatform.jar -d class src¥samples¥Sound.java
REM ====================================
ECHO リンース XJAVA_HOMEX¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_ja.properties class¥samples¥samples_ja.properties XJAVA_HOMEX¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples_en.properties XJAVA_HOMEX¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples.properties ECHO Jar生成
%JAVA_HOME%¥bin¥jar cf jars¥sample.jar -C class samples REM ====================================
REM ====================================
REM ====================================
REM ECHD C/C++コンバイル REM %MINGW_HOME%¥bin¥gcc -shared -D_JNI_IMPLEMENTATIONWall -O2 -s -fomit-frame-pointer -fno-strength-reduce -WI,- nause

一覧から「上書き保存(S)」を左クリックします。



「×」ボタンを左クリックし、「build1.bat」ファイルを閉じます。

🖡 build1.bat - 🕫
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)
ECHO Javaコンバイル %JAVA_HOME%¥bin¥javac -source 1.4 -classpath C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥jars¥mzplatform.jar -d class src¥samples¥Sound java
REM ====================================
ECHO リンース %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_ja.properties class¥samples¥samples_ja.properties %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples_en.properties %JAVA_HOME%¥bin¥native2ascii -encoding SJIS src¥samples¥samples_en.properties class¥samples¥samples.properties ECHO Jar⊄pt
%JAVA_HOME%¥bin¥jar cf jars¥sample.jar –C class samples RFM ====================================
nem (3) ネイティブのヘッダファイル作成
NLm REM ECHO ネイティブのヘッダファイル生成 REM %JAVA_HOME%¥bin¥javah -d src_native -jni -classpath class samples.SampleNativeAdditionComponent
REM ====================================
REM ECHO C/C++コンバイル REM %MINGW_HOME%¥bin¥gcc -shared -D_JNI_IMPLEMENTATIONWall -O2 -s -fomit-frame-pointer -fno-strength-reduce -WI,-
pause

手順4 バッチファイルの実行

「build1.bat」ファイルのアイコンをダブルクリックします。



以下の画面が表示されます。[Enter]キーを押してください。(もしエラーメッセージが表示されたら どこか設定を間違っています。もう一度手順を確認してください。)



「class」フォルダが作成されたことが確認できます。



「スタート」→「マイコンピュータ」→「ローカルディスク(C:)」→「MZPlatform」→「3.4」→「developer」 →「sample」→「class」とたどります。「sample」フォルダが作成されたことが確認できます。



「samples」フォルダのアイコンをダブルクリックします。フォルダ内に「samples.properties」、「samples_en.properties」、「samples_ja.properties」、「Sound.class」ファイルが作成されたことが確認できます。

🖾 samples			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入	り(色) ツール(① ヘルプ(日)		A
🚱 戻る 🔹 🕥 🚽 🏂 🔎 検索	🍺 7สมปรี 🎹 •		
アドレス(D) 🛅 C:¥MZPlatform¥ 3,4 ¥develop	er¥sample¥class¥samples		🖌 🄁 移動
ファイルとフォルダのタスク ② 新しいフォルダを作成する ③ このフォルダを Web に公開する ② このフォルダを共有する	samples properties PROPERTIES 771/b 1 KB samples japroperties PROPERTIES 771/b 1 KB	samples enproperties PROPERTIES ファイル 1 KB Soundclass CLASS ファイル 5 KB	
その他 🙁			
 class マイドキュメント 共有ドキュメント マイコンピュータ マイネットワーク 			
詳細 (*)			
samples ファイル フォルダ 更新日時: 2007年2月15日、16:16			

手順5 「sample.jar」ファイルの確認

「jars」フォルダ内に「sample.jar」ファイルが作成されているかを確認します。「スタート」→「マ イコンピュータ」→「ローカルディスク(C:)」→「MZPlatform」→「3.4」→「developer」→「sample」 →「jars」とたどります。「sample.jar」ファイルが作成されているのが確認できます。

ars and a second	
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルブ(H)	<i></i>
アドレス(D) 🛅 C.¥MZPlatformit 3.4 ¥developer¥sample¥jars	🗸 🄁 移動
ファイルとフォルダのタスク	
70他 余	
 Sample マイドキュメント 共有ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク 	
■ 詳細 (本)	
jars ファイル フォルダ 更新日時: 2007年2月15日、14:16	

「sample.jar」ファイルを移動させます。「sample.jar」ファイルのアイコン上で右クリックし、[コ ピー(<u>C</u>)]を左クリックします。



「スタート」→「マイコンピュータ」→「ローカルディスク(C:)」→「MZPlatform」→「3.4」→「jars」 とたどります。下図の囲み内で右クリックします。

🗁 jars			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T)	くそう		delle 🦧
🔇 戻る • 🌍 • 🏂 🔎 検索 陵 フォルダ 🔓	» > × Y	I -	
アドレス(D) 🛅 C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥jars			💙 🄁 移動
ファイルとフォルダのタスク ● 新しいフォルダを作成する	cker	executor.jar JAR ファイル 126 KB	
	55j.jar アイル	mzplatform.jar JAR ファイル 6,759 KB	
その他	-20091214.jar アイル (B	poi-ooxml-3.6-20091214.jar JAR ファイル 404 KB	
C6 マイドキュメント サーク マイ ドキュメント サーク マイ コンピュータ	ommjar アイル	security.jar JAR ファイル 243 KB	
jars ファイル フォルダ 更新日時: 2010年10月5日、15:08			

[貼り付け(<u>P</u>)]を左クリックします。

🗁 jars		
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入	り(み) ツール(エ) ヘルプ(H)	A
Ġ 戻る 🔹 🕥 🕤 🏂 🔎 検索	💫 کناروچ 🏂 🏂 🏷 😥	
アドレス(D) 🛅 C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥jars		💙 芛 移動
ファイルとフォルダのタスク 🛞	MZChecker executor.jar JAR 774 JJ 126 KB	
 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	Ipsolve55i,jar JAR ファイル 30 KB	
その他 🛞	poi-3.6-20091214.jar JAR ファイル 1,504 KB	
 こ6 マイドキュメント 共有ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク 	RXTXcomm.jar JAR ファイル 59 KB	
21/2		
	最新の情報に更新(E)	
jars ファイル フォルダ	このフォルダのカスタマイズ(<u>F</u>)	
更新日時: 2010年10月5日、15:08	貼り付け(2)	
	新規作成(₩)	
	プロパティ(<u>R</u>)	

「sample.jar」ファイルが追加されたことが確認できます。



手順6 コンポーネント登録手続き(その1)

 $\lceil \mathcal{A} \mathcal{P} - \mathsf{P} \rceil \rightarrow \lceil \mathcal{P} \mathcal{A} \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \rceil \rightarrow \lceil \mathcal{P} - \mathcal{P} \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \rceil \rightarrow \lceil \mathcal{A} \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \land \mathcal{P} \rceil \rightarrow \lceil \mathcal{A} \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \land \mathcal{P} \land \mathcal{P} \land \mathcal{P} \neg \mathcal{P} \land \mathcal{P} \land$

🚞 etc			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入	り(A) ツール(T) ヘルプ(H)		A 1
🚱 戻る 🔹 🕥 🚽 🏂 🔎 検索	🧞 フォルダ 🛄▪		
アドレス(D) 🛅 C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥etc			💙 芛 移動
ファイルとフォルダのタスク 🛞	font	MZChecker	
#TUGNJ#ルダをTEDX/9る	hostsfile.ini 構成設定 1 KB	isvapolicy POLICY ファイル 1 KB	
その他 🔹	Platform.ini 構成設定 1 KB	PlatformClassPath.ini 構成設定 1 KB	
 1.5 マイドキュメント 共有ドキュメント スイ アンピュータ 	PlatformComponents_en.ini 構成設定 15 KB	PlatformComponents_ja.ini 構成設定 15 KB	
र्म ३७८२ ७ २४ २४ २७ २७ २४ २४ २४	PFLicenseKey.mzl MZL ファイル 1 KB	PFLicenseKey.mzk MZK ファイル 1 KB	
# #			
etc ファイル フォルダ 更新日時: 2007年2月15日、14:21			

最下行に「**DXF** ファイル入力 jp.go.aist.dmrc...(以下省略)」の記述があります。次行に以下の 記述を行います。

[サンプル]

<サンプル>

 $sound \triangle samples. Sound$

(注1)入力は半角で行います。

(注2)△部分は[Tab]キーを1回押して、スペースを挿入します。

▶ PlatformComponents_ja.ini - 少毛帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルプ(H)	
標準エラー出力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFStandardErrorOutput <帳票>	^
帳票 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.system.print.PFPaper <ファイル>	
ファイル jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFFile CSV入力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFCSVReader CSV出力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFCSVWriter テキストファイル入力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFTextFileWriter 画像ファイル入力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFTextFileWriter 画像ファイル出力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFImageFileReader 画像ファイル出力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFImageFileWriter 音声再生 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.media.PFSoundPlayer XM.変換 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.xml.PFXmlTransformer ラベル付きリストXML変換 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.xml.PFLabeledObjectListXmlTransformer	
N週目2 簡易メール送信 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.mail.PFSimpleMailSender (3Dフレームワーク)	
STEPファイル入力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.framework3d.io.PFSTEPFileReader IGESファイル入力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.framework3d.io.PFIGESFileReader DXEファイル入力 jp.go.aist.dmrc.platform.beans.framework3d.io.PFDXFFileReader	
リフノルコ 〈サンプル〉 Sound samples.Sound	

ここで行った設定を保存します。メニューバーの[ファイル(F)]を左クリックします。



[上書き保存(S)]を左クリックします。

PlatformComponents_ja.ir	ii - メモ艦	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表	示② ヘビダ田	
新規(<u>N</u>) Ctrl+N 開((<u>O</u>) Ctrl+O	st.dmrc.platform.beans.io.PFStandardErrorOutput	^
上書き保存(S) Ctrl+S 名前を付けて保存(<u>A</u>)	platform.beans.system.print.PFPaper	
ページ設定(U) 印刷(P) Ctrl+P	st.dmrc.plattorm.beans.io.PFFile platform.beans.io.PFCSVReader platform.beans.io.PFCSVWriter	
メモ帳の終了⊗ デキストファイル出力 画像ファイル入力 画像ファイル出力 音声再生 jp.go.a XML変換 jp.go.aist.dmrc ラベル付きリストXML変換 <通信>	jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFTextFileReader jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFTextFileWriter jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFImageFileWriter jp.go.aist.dmrc.platform.beans.io.PFImageFileWriter ist.dmrc.platform.beans.media.PFSoundPlayer .platform.beans.xml.PFXnlTransformer jp.go.aist.dmrc.platform.beans.xml.PFLabeledObjectListXmlTransformer	
間易メール法信 JP.go.a <3Dフレームワーク> STEPファイル入力 IGESファイル入力 DXFファイル入力 jp.go.a [サンブル] <サンブル> Sound samples.Sound	ist.dmrc.platform.beans.mail.PFSimpleMailSender jp.go.aist.dmrc.platform.beans.framework3d.io.PFSTEPFileReader jp.go.aist.dmrc.platform.beans.framework3d.io.PFIGESFileReader ist.dmrc.platform.beans.framework3d.io.PFDXFFileReader	

「×」ボタンを左クリックし、「PlatformComponents_ja.ini」ファイルを閉じます。



手順7 コンポーネント登録手続き(その2)

🗁 etc			
ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入	り(A) ツール(T) ヘルプ(H)		1
🚱 戻る 🔹 🕑 🚽 🏂 🔎 検索	🦻 フォルダ 🛄▪		
アドレス(D) 🛅 C:¥MZPlatform¥ 3.4 ¥etc			🗙 🄁 移動
ファイルとフォルダのタスク 📀	font	MZChecker	
 	hostsfile.ini 構成設定 1 KB	javapolicy POLICY ファイル 1 KB	
その他 🛞	Flatform.ini 構成設定 1 KB	PlatformClassPath.ini 構成設定 1 KB	
 1.5 マイドキュメント 共有ドキュメント 	PlatformComponents_en.ini 構成設定 15 KB	PlatformComponents_ja.ini 構成設定 15 KB	
ତ୍ର ସମ ଅଧିୟ-୬ ତ୍ର ସମ ନି୬୮୦-୬	PFLicenseKey.mzl MZL ファイル 1 KB	PFLicenseKey.mzk MZK ファイル 1 KB	
詳細 《			
etc ファイル フォルダ 更新日時: 2007年2月15日、14:21			

最下行に「jars¥apache¥poi¥dom4j-1.6.1.jar」の記述があります。次行に空白行を挿入し、以下の 記述を追加します。

Sound jars¥sample.jar (注)入力は半角で行います。



ここで行った設定を保存します。メニューバーの[ファイル(F)]を左クリックします。

📕 PlatformClassPath.ini - メモ帳	
(ファイル(F) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)	
# MZ_Platform_ClassPath	~
jars¥mzextension.jar jars¥mzplatform jar	
# MZ Checker ClassPath	
jars¥MZChecker¥mzchecker.jar	
# Sample applications	
jars¥executor.jar	
# RYTY Sprint Port Connector	
iars¥rxtx¥RXTXcomm.iar	
# LPSolve	
Jars#ipsorve#ipsorveJ0J.Jar	
# Apache Commons	
jars¥apache¥commons¥commons-net-1.4.1.jar	
Jarstapachetconmionstconmionstnath_2.1.Jar	
# Apache POI	
jars¥apache¥poi¥poi-3.6-20091214.jar isra-YunashaYuniYuni asuml 2.6.20001214.jan	
jarstapachetpoitpoitooxmlts.ot20091214.jar jarstapachetpoitpoitooxmltschemast3 6-20091214 jar	
jars¥apache¥poi¥xmIbeans=2.3.0. jar	
jars¥apache¥poi¥dom4j-1.6.1.jar	
# Sound	
jars¥sample.jar	
	~
	\geq

[上書き保存(<u>S</u>)]を左クリックします。



「×」ボタンを左クリックし、「PlatformClassPath.ini」ファイルを閉じます。

🐻 PlatformClassPath.ini - メモ帳	
ファイル(E) 編集(E) 書式(Q) 表示(V) ヘルブ(H)	
# MZ Platform ClassPath jars¥mzextension.jar jars¥mzplatform.jar 左ク	>リック
# MZ Checker ClassPath jars¥MZChecker¥mzchecker.jar	
# Sample applications jars¥executor.jar	
# RXTX Serial Port Connector jars¥rxtx¥RXTXcomm.jar	
# LPSolve jars¥lpsolve¥lpsolve55j.jar	
# Apache Commons jars¥apache¥commons¥commons-net-1.4.1.jar jars¥apache¥commons¥commons-math-2.1.jar	
# Apache POI jars¥apache¥poi¥poi-3.6-20091214.jar jars¥apache¥poi¥poi-ooxml-3.6-20091214.jar jars¥apache¥poi¥poi-ooxml-schemas-3.6-20091214.jar jars¥apache¥poi¥xmlbeans-2.3.0.jar jars¥apache¥poi¥dom4j-1.6.1.jar	
# Sound jars¥sample.jar	
	▼ ≥.;;

手順8 コンポーネント一覧に登録されているかの確認

「スタート」→「すべてのプログラム(<u>P</u>)」→「MZ Platform 3.4」とたどり、「アプリケーションビ ルダー」を左クリックします。



「アプリケーションビルダー」画面が表示されます。下図の囲み内で右クリックします。

💑 MZ Platform アプリケーションビルダー	
ファイル 編集 アプリケーション オブション ヘルブ	コメント行検索 💌
アプリケーション名称	in i
■ アプリケーション <u>key: ***</u>	
【アイコン凡例 1 アブリケーション ■画面構成部品 ■ウィンドウ ■メニュー ■リネル ■処理部品 1 実行 実行(数定可) 画面編集 帳票編集 ロード 挿入 保存 上書き(■複合価面構成) ■複合処理) ■リモート R存 終了

「コンポーネント追加」→「サンプル」→「サンプル」とたどります。 「sound」コンポーネントが登録されていることが確認できます。

MZ Platform アプリケーションビルダー				
ファイル 編集 アプリケーション オブシ	ョン ヘルブ		コメント行検索	~
アプリケーション名称				
■ アブリケーション KEY:"				
コンボーネント追加 り	画面構成部品▶			
コンポーネントー括追加	処理部品			
複合コンポーネント作成	人出力 ↓ サンブル ↓ サンブル ↓ ● Sc	und		
貼り付け	クラス指定			
すべて展開 すべて開じる				
コンポーネント検索 GUIコンポーネント検索				
コメント行追加 コメント行 追加	-			
コンボーネントID再設定				
【アイコン凡例】 🛑 アブリケーシ	ョン 📄 画面構成部品 🗐 ウィンドウ 📔	┃メニュー	▋複合(画面構成) ▋複合(処理)	 ∪モート
実行 実行 (調)	(定可) 画面編集 帳票編集	ロード 挿入 保存 上書き	保存 クリア 終了	

